



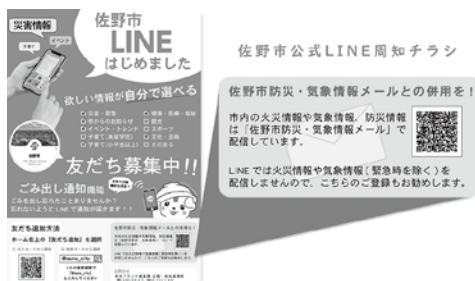
早川 貴光 議員

佐野市公式LINEの運用について

Q 市では、市の公式ラインと市の防災・気象情報メールとの併用を勧められている。公式ラインでは、緊急時を除き火災情報や気象情報を配信しないとしているが、市民から、昨年の台風のような災害のケースは、どの程度公式ラインで情報発信がされるのかという声をいただいた。緊急時の公式ラインでの情報発信の具体的なケースを伺いたい。

A 総合政策部長

市公式ラインでの緊急情報の発信については、佐野市地域防災計画に定められた市の活動体制に応じた対応を行います。例えば、台風等災害の状況に応じた災害警戒本部の設置を起点に、市公式ラインによる災害等の緊急情報発信を行っています。という考えです。

▲ 市の防災・気象情報メールとの併用を勧める
佐野市公式LINE周知チラシ

亀山 春夫 議員(政友みらい)

室の沢橋について

Q 現在、室の沢橋の橋脚は11基ほどあり、約7メートル間隔にある。これまで地元住民からも流木対策を心配する声が上がっている。橋脚は危険性を考慮すると、2基程度に改修すべきと考えるが、どのように考えるか伺いたい。

A 都市建設部長

室の沢橋は橋脚の数が多く、それぞれの間隔が狭いため、洪水時に流木などの漂流物が堆積してダム化するなど、災害を引き起こす原因になることもありま。しかしながら、橋脚の間隔を広くするためには、橋の架け替えが必要となり、その場合多くの費用と時間を要しますので、市全体の橋りょうの維持管理の在り方を総合的に判断した上で対応します。

その他の質問
☆佐野市船越町曲屋沢砂防ダムについて

▶ 室の沢橋



高橋 功 議員(蒼生会)

新型コロナウイルス感染症対策について

Q 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ等の同時流行への対応として、インフルエンザ予防接種費用の助成を行う予定であるが、具体的な内容を伺いたい。

A 健康医療部長

例年65歳以上の方を対象に定期インフルエンザ予防接種を行っており、1,000円の自己負担をしていただいています。今年度は、さらに生後6か月から中学3年生相当の方、妊娠されている方に対して、任意インフルエンザ予防接種として費用を助成します。助成内容は、インフルエンザ予防接種1回につき2,000円を市が助成するもので、13歳未満の方へ2回、13歳以上の方へ1回助成します。対象人数は、生後6か月から中学3年生相当の方が約1万3,400人、妊娠されている方が約700人で、助成総額を2,920万円と見込みました。

その他の質問

☆令和元年東日本台風による小曾戸川の溢水の原因と対応について